

**第 14 回エコエリアやまがた推進コンクール
優秀賞（エコエリアやまがた推進協議会長賞）**
※掲載している情報は令和元年度時点のものです。

名 称	八幡共乾施設特別栽培米部会
所在地	酒田市
応募タイトル	葉色診断と特別栽培による良品質米生産
<p>1. 取組の背景・経過等</p> <p>①取組み開始年：平成13年産より減農薬栽培、平成16年産に減農薬、減化学肥料栽培の取組みを始める。また、平成19年度に構成員全員がエコファーマーの認証を取得した。</p> <p>②動機：「一人だけが良いお米を作っても、施設（CE）ではサイロ内で混ざってしまうため、モチベーションの維持が難しい。」という生産者からの不満の解消と、取引先への有利販売を行うため。</p> <p>③取組み概要：生産圃場段階で食味値を予測・仕分け集荷する葉色診断技術を平成9年に導入したことに加え、平成16年から栽培方法を統一して特別栽培米に取り組むことで、それまで生じていた品質のバラつきを抑制、且つ環境に配慮した生産基準を設けた。</p> <p>④経営状況：特別栽培米（平成30年産）品種 つや姫・はえぬき 生産者 6名 1,312a 出荷数量 956.0俵 販売額 11,950千円</p> <p>⑤販路先：JA庄内みどり、千葉県・大阪府の米小売店他</p> <p>⑥環境保全型農業直接支払交付金の参加状況：5名（1,163a）／6名中（1,312a）</p> <p>⑦取得状況：エコファーマー（栽培者6名全員） 特別栽培農産物認証（やまがた農業支援センター）</p> <p>2. 取組内容</p> <p>(1)土づくりのための取組み ・堆肥や土壌改良剤の使用を推奨している。</p> <p>(2)地球温暖化防止や生物多様性等の取組み ・水稻生育期間中は除草剤を使用せず、年4回以上草刈機械による畦畔除草に取り組んでいる。</p> <p>(3)生産工程の見える化等の取組み ・生産履歴の記帳。 ・特別栽培米の認証（ガイドライン表示をJAホームページへ掲載）。</p> <p>(4)面積拡大に向けた取組み ・次年度の取り組みに向けた耕種基準説明会の案内を施設利用者に配布し、面積拡大を図っている。</p> <p>(5)効率的な生産に向けた取組み ・農事組合法人で取り組んでいる組織は、田植え、刈り取り、施設（CE）への籾搬入を共同の機械を利用し、作業を行っている。 ・葉色診断の共同実施。</p> <p>(6)地域内外で連携した安定出荷の取組み ・施設（CE）で共同乾燥調製を行い、サイロで貯蔵している。</p> <p>(7)販路の確保に向けた取組み ・県外の取引先（米小売店グループ）と毎年秋に新米と八幡産特産品の販売促進イベントを開催している。</p> <p>(8)地域内外への波及に向けた取組み ・9月上旬の登熟期に葉色の濃さを測定する葉色診断を行い、生産者同士の技術交流を行っている。</p>	

・3月下旬に「環境保全型農業直接支払交付金事業」の説明会を行い、環境保全に対する啓発活動を行っている。

(9) 人材育成活動

・毎年千葉県の取引先で開催する販売促進イベントへ参加しているが、参加させる部会員は固定せず、持ち回りで担当させ、部会員に取引先や消費者と交流を通して自らの活動内容への理解を深めつつ、その重要性を再認識させ、ひいては部会員の生産意欲向上と成長に繋げている。

3. 活動の成果

・環境に配慮した生産方法を実践することによって、構成員の環境に配慮した稲作りに対する意識が向上した。また、そうした生産方法で生産されている作物の需要の増加を受け、一層生産意欲を高めている。加えて、葉色診断を実施することで、生産者の特別栽培米に関する意識の向上にもつながった。

○販売促進イベントでの活動の様子



